斑鳩 いかるが

ともに生き、ともに育むまち
歴史と文化がくらしの中に息づく
”新斑鳩の里“

10月1日から 斑鳩町コミュニティバスが 新しく変わりました！

～ 斑鳩町コミュニティバスお披露目式 ～

（P８に関連記事）

2 斑鳩町の家計簿 ～平成27年度財政状況～ ――特集
8 まちの話題
10 いにしえの風 ～斑鳩文化財センターだより～
11 図書館だより
12 協働のまちづくり 住民活動センターだより
13 パゴちゃんの 地球となかよし
14 まちの情報
18 ほけんだより
20 町制70周年 写真でたどろう斑鳩の記憶

2016
11
No. 614

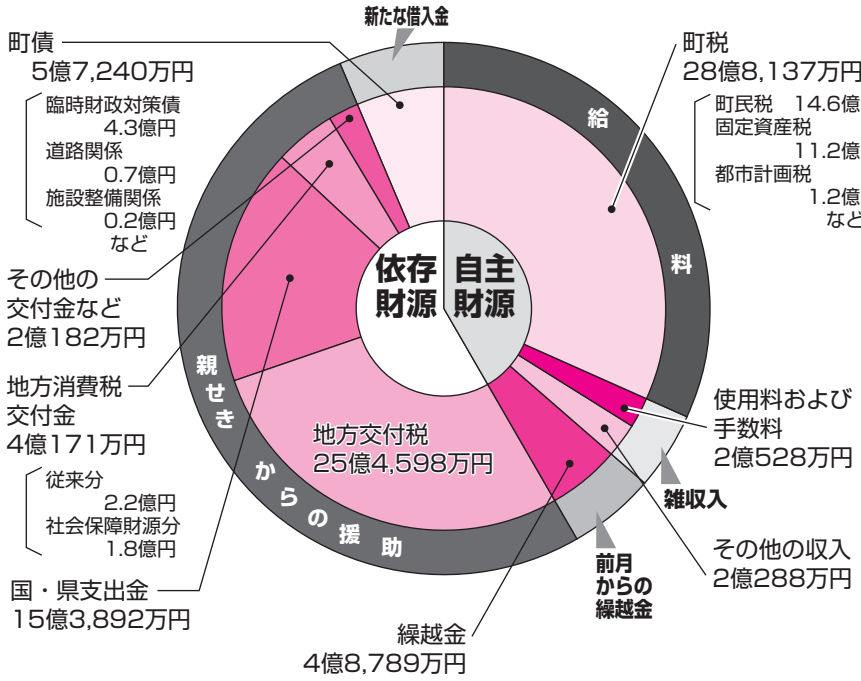
斑鳩町の家計簿

～平成27年度財政状況～

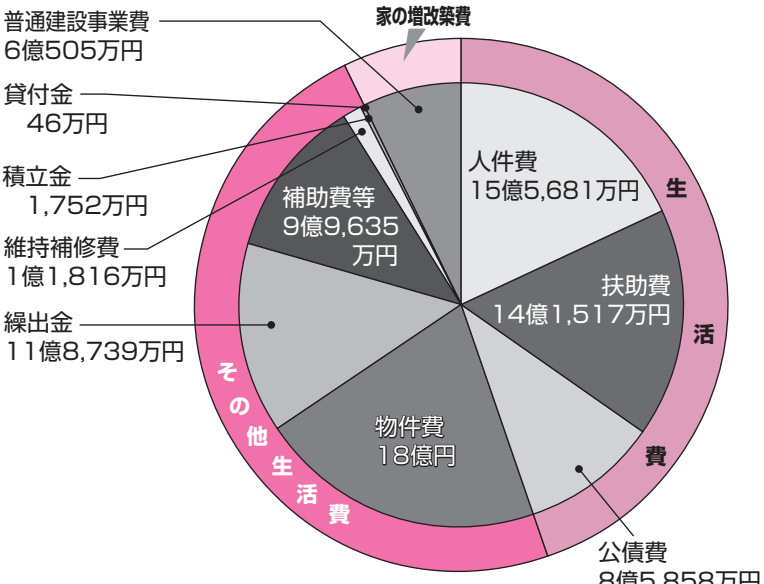
平成27年度の決算がまとまり、9月の町議会定例会で認定されました。
みなさんに納めていただいた大切な税金がどのように使われたのか、一般会計を中心に概要をお知らせします。

一般会計決算

歳入 90億3,825万円



歳出 85億5,549万円



おもな用語チェック

■歳入の主な用語録

町税　みなさんが納めた町民税、固定資産税、都市計画税など。なお、都市計画税は、目的税として都市計画事業に要する経費にあてられます。

地方交付税　所得税など、国が徴収した税金のなかから町の財政状況に応じて交付される交付金

地方消費税交付金　地方消費税の中から交付されるお金。なお、社会保障財源分は、消費税率引上げ分として、社会保障施策に要する経費にあてられます。

町債　大きな事業を行うための国や金融機関からの借入金

■歳出の主な用語録

人件費　職員や特別職の給与、議員および各委員会の委員報酬

扶助費　児童手当、子ども・老人・重度障がい者の医療費助成金など

公債費　町債（借入金）の返済金

物件費　光熱水費や消耗品費、業務委託料など

繰出金　国民健康保険などの特別会計へ繰り出して使ったお金

補助費等　各種事業や団体への補助金や負担金

維持補修費　公共施設の修繕料など

普通建設事業費　道路の整備などに使ったお金

平成27年度の決算

■ 財産の状況

財産の種類	平成27年度末現在高
土地	357,177㎡
建物	91,503㎡
有価証券	104万円
基金	33億6,008万円
財政調整基金	18億7,209万円
減債基金	1億9,252万円
福祉基金	3億3,269万円
文化振興基金	8,669万円
斑鳩の里歴史文化遺産保存・活用基金	1,692万円
スポーツ振興基金	2,095万円
土地開発基金	7億4,952万円
国民健康保険財政調整基金	7万円
介護保険給付費準備基金	8,863万円

〈平成27年度会計別決算〉

会計名	歳入決算額	歳出決算額	収支差引額
一般会計	90億3,825万円	85億5,549万円	4億8,275万円
国民健康保険事業	36億　794万円	40億3,752万円	▲4億2,958万円
公共下水道事業	14億3,865万円	14億3,865万円	0万円
介護保険事業	21億5,787万円	20億7,137万円	8,650万円
後期高齢者医療	3億5,990万円	3億5,960万円	30万円
合計	166億　260万円	164億6,263万円	1億3,997万円

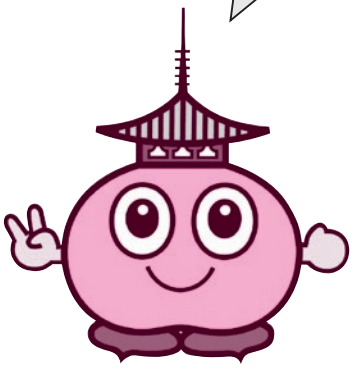
※表中の金額は、表示単位未満を四捨五入して表示しているため、合計、差し引きとその内訳が一致しない場合があります。

■ 町債の状況

会計名	平成27年度末現在高
一般会計	95億8,565万円
特別会計	85億1,535万円
合計	181億　100万円

町の一般会計決算を、家計簿に置き換えてみました

まちの財政がわが家の家計だったらどうなるのでしょうか？
斑鳩町の家計簿は、斑鳩町の一般会計決算額を人口28,204人（平成28年３月末日現在）で割った数字を、１か月の家計簿にたとえています。



●１か月の総収入額 … 32万円

斑鳩家の収入	収入額(円)	構成比(%)	一般会計決算
給料	102,000	31.9	町税
雑収入（内職・パート収入や不動産収入、貯金の取崩し）	15,000	4.7	使用料および手数料
			その他の収入
前月からの繰越金	17,000	5.3	繰越金
親せきからの援助	166,000	51.9	地方交付税
			国庫支出金
			県支出金
			地方消費税交付金など
新たな借入金	20,000	6.2	町債
合計	320,000	100.0	

●１か月の総支出額 … 30万３千円（来月への繰越金１万７千円）

斑鳩家の支出		支出額(円)	構成比(%)	一般会計決算
生活費	食費	55,000	18.2	人件費
	医療費、教育費など	50,000	16.5	扶助費
	ローンの返済	31,000	10.2	公債費
その他生活費	光熱水費・消耗品費など	64,000	21.1	物件費
	家の修繕費	4,000	1.3	維持補修費
	自治会費・スポーツクラブ会費など	35,000	11.6	補助費等
	貯金	1,000	0.3	積立金
	子どもへの仕送り	42,000	13.9	繰出金
家の増改築費		21,000	6.9	普通建設事業費
合計		303,000	100.0	

平成27年度の主な事業を紹介します

1 文化の香り高く心豊かなまちづくり

●史跡公園として整備をすすめている史跡中宮寺跡について、塔および金堂の基壇の復元などの整備工事を実施しました。

▲史跡中宮寺跡
基壇の復元により、史跡公園らしい姿に！

●町民のみなさんから集めた古い写真やそれらに関係する町民の記憶を、インターネット上で閲覧できる「斑鳩の記憶データベース」を正式公開しました。

●いかるがホールにおいて、大ホール舞台照明設備操作卓の改修工事を実施しました。また、防犯・防火対策の充実と施設の適正な管理をはかるため、防犯カメラを増設しました。

●一人ひとりが個人として尊重される男女共同参画社会を実現するため、第3次男女共同参画推進計画を策定しました。

●赤ちゃんと保護者が、絵本を介して心ふれあうひとときをもつきっかけづくりとなるブックスタートについて、平成27年度から、すべての保護者を対象に、絵本の後日配布を開始しました。

●住民サービスおよび安全面での充実を目的に、中央公民館のエレベーターの更新工事を実施しました。

●町民プール管理棟において、耐震補強工事を実施しました。

2 すこやかに生き生きくらせるまちづくり

●子育て中の親が気軽に相談しあえる場として提供している「つどいの広場」の充実のため、法隆寺幼稚園に委託し、新たに「出張つどいの広場」を設置しました。

▲出張つどいの広場
子どもだけでなく保護者同士の交流も！

●一般不妊治療や不育治療を行う夫婦の経済的負担の軽減をはかるため、治療に要する費用の助成を増額しました。

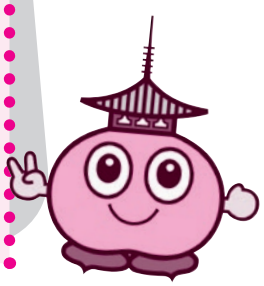
●児童福祉の向上をはかるため、町内の私立保育所の運営を支援しました。

●生後12か月から小学校就学までの幼児を対象に、おたふくかぜワクチンの予防接種費用の一部を助成しました。

●生きがいを持ち、元気で幸せに暮らすことができる健康長寿社会をめざし、（仮称）健康寿命延伸計画を策定するにあたり、住民の健康状況や生活習慣などを把握するため、アンケート調査を実施しました。

●子育て家庭の経済的な負担の軽減をはかるため、中学3年生までの子どもを養育する人に、その子どもにかかる保険診療の自己負担分を助成しました。

●平成30年度から本格実施する地域包括ケアシステムを構築するための基礎調査を実施しました。



3 潤いのある魅力的なまちづくり

●円滑に車・歩行者の移動ができるよう、町道503号線（神南3丁目）の整備を行うなど、生活道路の整備をすすめました。

▲町道503号線（神南３丁目）
道路の拡幅、歩道の設置により、見通しの改善など安全性を高めました。

●コミュニティバスの増便に関する具体的な運行ルートなどを定めた「斑鳩町コミュニティバス実証運行計画」を策定するとともに、老朽化したバス停標示板を更新しました。

●橋りょう長寿命化修繕計画にもとづき、シンデン橋の補修工事を実施したほか、その他一部の橋りょうの定期点検や補修設計を実施しました。

●都市計画道路法隆寺線において、歩道部の照明柱設置と中央公民館駐輪場の復旧工事を実施しました。

4 安全で快適なまちづくり

●ため池を治水利用し、河川への急激な雨水の流出を抑制することで浸水被害の軽減をはかるため、東町池貯留浸透施設整備に着手しました。

▲東町池の整備工事のようす
平成28年度での完了を予定しています。

●自治会などに対して、防犯灯の設置に要する費用を補助するとともに、電気料金について、町から電力会社に直接支払う形で、全額を補助しました。

●平成26年度から3か年計画で実施している衛生処理場焼却棟の解体撤去について、平成27年度では焼却棟本体の解体撤去などを実施しました。

●消防団活動の充実をはかるため、新たに防塵メガネ、防塵マスク、耐切創性手袋を配備しました。

5 活力とにぎわいのあるまちづくり

●生駒郡内の史跡・名勝などをめぐり、豊かな歴史や文化を満喫できる「聖徳太子ゆかりの地を巡る『いにしえ浪漫街道ツーデーウォーク』」を生駒郡4町が共同で開催しました。

●地元消費の拡大、地域経済の活性化のため、斑鳩町商工会が行うプレミアム商品券、プレミアム・リフォーム券の発行を支援しました。

●訪日外国人旅行者が快適に、そして安心して観光できるよう、法隆寺iセンターなどに無料Wi-Fi環境を整備しました。

●観光客と地域住民の交流および観光産業の魅力発信のため、民間事業者主体の1週間連続イベント「いかるがWeeeK」を開催しました。

▲常楽市のようす

6 ともに築く協働のまちづくり

●協働のまちづくり活動提案事業補助金交付要綱を施行し、新しい活動をつくりだそうとチャレンジする住民活動団体や、新しい団体・グループの立ち上げを支援しました。

▲斑鳩町協働のまちづくり活動提案事業選考委員会のようす

●第4次総合計画前期基本計画の計画期間の終了に伴い、後期基本計画を策定しました。

●本町における人口減少対策および地域活性化対策の方向性を定めた「斑鳩町人口ビジョン」と「斑鳩町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

●官学連携の推進を目的に、機能的・効果的な運動や運動習慣の大切さを学ぶ機会として、中学1年生を対象に、畿央大学と連携し、大学の専門性を活用した指導などを実施しました。

平成27年度決算から

平成27年度に斑鳩町の一般会計に入ってきたお金（歳入）は、90億3，825万円、使ったお金（歳出）は、85億5，549万円、差引、4億8，275万円となりました。ここから、平成28年度に繰り越す財源、3，051万円を差し引いた金額（実質収支額）は、4億5，224万円の黒字でした。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」を受けて作成した健全化判断比率（下図参照）については、いずれの比率についても早期健全化団体となる基準を大きく下回っており、現段階については健全な状況となっています。

今後も人口減少と少子高齢化が同時進行する厳しい社会経済状況が続くと予想されますので、引き続き健全な財政運営に努めていきます。

決算についての問合せ

財政課（☎内線253）

■ 斑鳩町の健全化判断比率の状況（平成27年度）

（単位：%）

指標	区　分	平成27年度(A)	平成26年度(B)	(A)－(B)	指標の概要
実質赤字比率	斑鳩町の比率	―（△7.75）	―（△6.92）	△0.83	福祉、教育、まちづくりなどを行う地方公共団体の一般会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を把握する指標
	早期健全化基準	14.52	14.59		
	財政再生基準	20.00	20.00		
連結実質赤字比率	斑鳩町の比率	―（△6.95）	―（△5.36）	△1.59	すべての会計の赤字や黒字を合算し、地方公共団体としての赤字の程度を指標化し、地方公共団体全体としての運営の深刻度を把握する指標
	早期健全化基準	19.52	19.59		
	財政再生基準	30.00	30.00		
実質公債費比率	斑鳩町の比率	6.9	6.9	0.0	借入金の返済額およびこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を把握する指標
	早期健全化基準	25.0	25.0		
	財政再生基準	35.0	35.0		
将来負担比率	斑鳩町の比率	40.3	37.4	2.9	地方公共団体の一般会計の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを把握する指標
	早期健全化基準	350.0	350.0		
	財政再生基準	―	―		

注）実質収支または連結実質収支が黒字である場合は、「実質赤字比率」または「連結実質赤字比率」は負の値で表示しています。

平成27年度斑鳩町財政健全化審査の結果

監査委員室（☎内線305）

■ 審査の結果

審査に付された健全化判断比率・資金不足比率およびその基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められた。

平成27年度一般会計・各特別会計決算審査

監査委員室（☎内線305）

■ 審査の結果

審査に付された一般会計および各特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書および財産に関する調書の各計数は、関係法令に準拠して調製され誤りのないものと認められた。

また、各基金の運用状況についても計数に誤りなく、適正に運用されているものと認められた。

詳細については、役場2階情報公開総合窓口でご覧ください。
監査委員室（☎内線305）

広報いかるがに広告を掲載しませんか

まちづくり政策課（☎内線214）

広告掲載場所	大きさ	配　色	広告掲載料
お知らせページ下一段相当	180mm×58mm	墨、古代朱の2色	1か月（税込み）18，513円
お知らせページ下一段2分の1相当	89mm×58mm	墨、古代朱の2色	1か月（税込み）10，284円
裏表紙下段	180mm×80mm	4色カラー	1か月（税込み）28，799円
裏表紙下段2分の1相当	89mm×80mm	4色カラー	1か月（税込み）15，427円

平成27年度 水道事業会計決算

問合せ 上水道課 ☎0745 ㉞1401

平成27年度の決算額は、収入が７億849万7,962円、支出６億7,411万8,308円、差引3,437万9,654円の当年度純利益（前年度純利益3,512万6,570円）となりました。

■ 事業の概要

		平成27年度	平成26年度
総給水戸数		10,824戸	10,777戸
総給水量		2,992,154㎥	3,020,539㎥
内訳	県水	2,016,426㎥	2,029,060㎥
	自己水	975,728㎥	991,479㎥
総有収水量		2,831,201㎥	2,846,322㎥
有収率		94.6%	94.2%

県営水道の依存率は約67.4％です。
有収率は、給水量に対して、料金収入となる水量の割合で、有収率が高いほどムダな水が少ないことになります。
（平成26年度全国平均は約89.8％）

■ 建設改良工事の概要

- **配水設備改良工事**
  - 工事延長　3,261m
  - 工事費　224,140千円
- **浄水場設備改良工事**　21,014千円

■ 有収率の推移

年度	斑鳩町（%）	全国平均（%）
21	95.4	90.0
22	95.0	90.1
23	95.4	89.5
24	94.2	90.0
25	95.0	90.1
26	94.2	89.8
27	94.6	—

■ 経理状況

イ．損益計算書【平成27年４月１日～平成28年３月31日】

（単位：円）

借方 科目	借方 金額	貸方 科目	貸方 金額
〔1〕水道事業費用	674,118,308	〔1〕水道事業収益	708,497,962
(1) 営業費用	646,702,342	(1) 営業収益	629,716,442
(2) 営業外費用	27,415,966	(2) 営業外収益	78,781,520
(3) 特別損失	0	(3) 特別利益	0
〔2〕当年度純利益	34,379,654		
合計	708,497,962	合計	708,497,962

ロ．貸借対照表【平成28年３月31日現在】

（単位：円）

借方 科目	借方 金額	貸方 科目	貸方 金額
（資産の部）		（負債の部）	
〔1〕固定資産	5,281,685,416	〔3〕固定負債	1,305,025,479
(1) 有形固定資産	5,277,849,767	(1) 企業債	1,300,311,871
(2) 無形固定資産	250,500	(2) リース債務	1,213,608
(3) 投資	1,446,000	(3) 特別修繕引当金	3,500,000
(4) リース資産	2,139,149		
		〔4〕流動負債	302,482,103
		(1) 企業債	57,361,891
		(2) リース債務	1,106,405
		(3) 未払金	228,194,961
〔2〕流動資産	535,126,110	(4) 引当金	5,188,000
(1) 現金及び預金	374,031,957	(5) その他	10,630,846
(2) 未収金	155,784,329		
(3) 貯蔵品	5,309,824	〔5〕繰延収益	2,187,093,390
		(1) 長期前受金	2,187,093,390
		（資本の部）	
		〔6〕資本金	780,913,446
		(1) 自己資本金	780,913,446
		〔7〕剰余金	1,241,297,108
		(1) 資本剰余金	116,481,293
		(2) 利益剰余金	1,124,815,815
合計	5,816,811,526	合計	5,816,811,526

平成27年度 水道事業会計決算審査

監査委員室（☎内線305）

■ 審査の結果

平成27年度斑鳩町水道事業会計決算書類は、関係法令に準拠して作成され、当事業年度の経営成績および当事業年度末の財政状態を適正に表示しているものと認められた。

水道事業は今後も短期間においては問題ないと思われるが、中長期における更新計画を定めるには、更新にかかる財源の確保を講じる必要があり、将来にわたり施設と財政両面で健全性が維持されるよう、「年間有収水量の減少」、「企業債の償還金の増加」、「老朽管などの更新、耐震化工事などの費用」の要因に十分配慮して持続可能な水道事業経営を望むものである。

詳細については、役場2階情報公開総合窓口でご覧ください。
監査委員室（☎内線305）